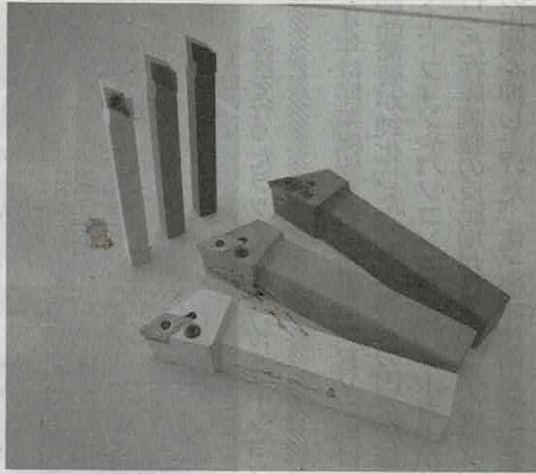


# 工具、ホルダーを色分け

## あおやま、自社ブランド

【名古屋】あおやま（愛知県豊橋市、青山雄治社長）は、工具ホルダーの自社ブランドを立ち上げ、第1弾商品を発売した。同社は一部、機械加工メーカー向けに工具ホルダーを提供しているものの、事業の9割以上が大手工具メーカー向け。機械加工メーカー向けに拡販するため、日本産業規格（JIS）に合わせた色付きの工具ホルダーを開発し、機械商社などを通じて販売を始めた。4月には追加商品も投入予定で、年間1000個の販売を目指す。



発売した「カラフルバイトホルダ」

あおやまは旋盤に使用する工具のホルダーメーカー。自社で焼き入れから研磨までの一

貫生産を行っている。

新たに立ち上げたブランドの名称は「MAGICIAN OF THE LATHE」

（旋盤の魔術師）。第1弾商品の色付き工具ホルダー「カラフルバイトホルダ」は、従来ホルダーにカラーコーティングを施したものの。

工具ホルダーは通常、工作機械との親和性を重視して黒色を採用する。色彩を施すことでユーザーが工具の用途や使用頻度ごとに色を使い分けられるようになり、誤使用の低減につながるという。JISが定める切削用

超硬工具の識別色に合わせてラインアップしており、ホルダー色による工具管理が容易になる。

カラフルバイトホルダは、長さ150mmのPDJN型と同100mmのSDJC型の2種類を用意。それぞれ第1弾として青、赤、緑、白、紫の5色をそろえ、4月には黄、茶色を追加する。価格はPDJN型が消費税込みで約2万円、SDJC型が同1万円程度。

カラーコーティングの皮膜は厚さ5μm（マイクロは100万分の1）でホルダーの精度も維持でき、「現場の品質確保にも貢献できる」（青山社長）としている。